

19日投開票
甲賀市議選

日本共産党 現有3議席守る

定数24を27人が争う甲賀市議選は19日投開票の結果、日本共産党は山岡光広、岡田重美、西山実の3名が当選、現有3議席を確保しました。選挙中掲げた公約の実現に向けて、引き続き全力で頑張ります。

訴えに期待と共感広がる

くらしと福祉を応援する甲賀市政に



公約実現へ全力で頑張ります

写真Ⅱ 右から山岡光広、西山実、岡田重美の各議員。21日、選挙結果の報告・ごあいさつに市内を宣伝カーで回りました。

今回の市議選で3氏は、①学校給食費の無償化、②75歳以上高齢者にも人間ドック助成を、③高すぎる国保税・介護保険料の引き下げ、④より便利なコミバス・コミタクへ、ダイヤの改善・増便を、⑤小中再編計画は住民合意で、⑥野洲川上流の産業廃棄物処分場建設計画はストンプなどを訴えました。また、加齢性難聴に伴う補聴器購入補助、高校卒業までの医療費無料化など4年間の実績を紹介し、行く先々で期待と共感が広がりました。

日本共産党は、計3012票（得票率8.02%）を獲得。今年7月の参院選比例票2118票を上回りました。また、4人が立候補した4年前の得票数4149票（得票率10.22%）の72.6%でした。今回の市議選の投票率は54.27%でした。

選挙後21日には3名そろって市内を宣伝、各地域で激励を受けました。引き続き公約実現、暮らし、福祉守る市政へと全力で頑張ります。

野洲川上流に産廃やめての声広がる

選挙期間中も「産廃やめて」の声が多く寄せられました。9月議会では日本共産党が提案した「南土山地先安定型産業廃棄物最終処分場建設計画の認可に対し慎重な対応を求める意見書」は全会一致で可決、滋賀県へ提出することができました。意見書の内容（概要）を紹介します。

南土山地先安定型産業廃棄物最終処分場建設計画の認可に対し慎重な対応を求める意見書

現在、甲賀市土山町南土山地先において、近江バラス株式会社による安定型産業廃棄物最終処分場の建設が計画されている。計画では、埋立廃棄物の種類は、廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず、がれき類で、石綿含有産廃も含まれる。また、最終処分場の面積は約26.0ha、埋立面積約11.8ha、埋立容量は約215万m³と県内最大規模となる。

建設予定地の水は次郎九郎川から田村川に流れ、野洲川に合流しているが、もし、産廃処分場が建設されれば地域環境や水質汚染への影響が大きく、上流だけでなく、下流域住民にとっても大きな問題である。しかも現計画では、搬入される産廃の9割は県外からのものであり、規模の大きさを指摘する声も寄せられた。

建設予定地周辺の住民からは、水質汚染をはじめ、特産である茶や米などの農産物への風評被害、旧東海道宿場町の観光への影響、周辺地域に生息する生物への影響や運搬車両の増加に伴う市民生活への影響など多くの弊害に対する不安が続出している。

甲賀市環境方針の基本理念では「豊かな自然・歴史・文化資源に囲まれた原風景を保全し、より良い環境を創造し次代に引き継ぐため、地域の環境保全を推進する」としている。将来においても豊かな自然を生かした営みが継続でき、安全安心な郷土を子々孫々につないでいくことが、いまを生きる私たちに課せられた責務であり、そうした疑問や不安を払しょくすることが不可欠である。よって、滋賀県におかれては、慎重に審査し、安易に許可を与えることのないよう要望する。

今後の議会予定

■ 11月臨時議会

改選後初めての臨時議会が11月7日（金）に開催されます。議長、副議長、議会選出監査委員、各常任委員会の所属と正副委員長など議会人事など選任がされます。

■ 12月定例議会

11月27日より12月定例議会が開会、12月5日議案質疑、8日から11日までが一般質問、12日から17日まで各常任委員会、22日最終日に討論・採決が行われます。請願の締め切りは11月19日です。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2025年 10月 26日 第557号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
TEL 62-3044
Fax 62-3044